

【消耗品の画像に基づいたローカルレコメンデーションの提供】 Microsoft

①要約：

このアイデアは、SNS や写真共有アプリを通じて投稿されたレストランの画像を AI で解析し、その食べ物がどのレストランのものか特定するシステムです。これにより、ユーザーは友人やフォローしている人が投稿したラーメンなどの食べ物が気になった際に、簡単にその情報を取得することができます。

②目的：

このアイデアの目的は、SNS 上で投稿された食べ物の情報を効率的に提供することです。ユーザーは写真から食べ物の内容や所在地を知ることができ、気に入った食べ物を見つけるための手間を省くことができます。

③新規性：

このアイデアの新規性は、SNS や写真共有アプリを通じて投稿された食べ物の画像を解析し、その情報を提供する点にあります。従来の SNS では、食べ物の情報はテキストベースのコメントやタグに依存していましたが、このシステムでは AI を使用して画像から直接的に情報を取得します。

④独自性：

このアイデアの独自性は、AI を用いて食べ物の画像を解析することにあります。既存の SNS や写真共有アプリでは、画像の自動認識やラーメンの材料などの詳細な情報提供は行われていません。このシステムは、AI を活用することでより詳細な情報を提供する点で独自性があります。

⑤経済価値：

このアイデアの経済価値は、ユーザーにとって情報収集の手間を省き、気になる食べ物の情報を容易に入手できることにあります。また、レストラン側にとっても、ユーザーが AI を通じて投稿した情報を瞬時に見ることができ、宣伝効果を高めることができます。さらに、このシステムを提供する企業は、AI の解析技術を持つ専門家やデータベースの構築などの専門知識を活用することで、競争力を持つことができます。そのため、このアイデアは経済的に価値のあるものと言えます。